

研究課題名	肝臓に対する薬物療法の効果に関する観察研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	肝細胞癌に対する薬物治療は、ソラフェニブなど分子標的治療薬による治療が行われて きましたが、2020 年以降免疫チェックポイント阻害薬が承認され、現在では免疫チェックポ イント阻害薬と血管新生阻害薬併用による治療が主流となっています。このような新しい お薬のデータはまだ少ないため、情報を収集し解析することで今後の肝細胞癌の治療に役 立つと考えました。
研究対象者	2009 年以降にベルランド総合病院消化器内科へ肝細胞癌治療のために受診され、薬 物治療を行われた方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 患者背景：生年月（年齢）、性別、診断日、手術等の治療歴の有無、病理組織結 果、治療開始日、再発の部位 薬剤導入時の患者背景：身長、体重、内臓転移の有無、骨転移の有無、リンパ節転 移の有無、合併症、疼痛・鎮痛薬使用の有無、支持療法の有無 薬剤導入後の経過：薬剤の投与量、休薬有無、減量有無、画像評価(RECIST、 mRECIST、RECICL に基づく)、病状経過の確認 血液検査：血算、生化学、凝固、腫瘍マーカー、線維化マーカー 画像検査：胸部 X 線、CT、MRI、MRE（肝の線維化を非侵襲的、簡易的に診断す るための MRI の撮影方法） （※PS：全身状態の指標であり、患者さんの日常生活の制限の程度を示します）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 12 月
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院 消化器内科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 消化器内科 氏名：安 辰一
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先まで お申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 消化器内科 氏名：安 辰一 メールアドレス：t_an@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）